



# スパークス・日本株・ロング・ショート・ファンド

## 愛称:ベスト・アルファ

### お知らせ



当ファンドは、  
「Morningstar Award “Fund of the Year 2017”」  
において、  
「最優秀ファンド賞(オルタナティブ型 部門)」  
を受賞しました。

Morningstar Award “Fund of the Year 2017”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2017年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。オルタナティブ型 部門は、2017年12月末において当該部門に属するファンド126本の中から選考されました。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社は、  
株式会社格付投資情報センターの選定による「R&Iファンド大賞2018」において、  
「投資信託／総合部門」の「国内株式総合部門」で「優秀賞」を受賞しました。



「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務)であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。「投資信託／総合部門」の各カテゴリーは、受賞運用会社の該当ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、受賞運用会社の全ての個別ファンドについて運用実績が優れていることを示すものではありません。

※当表彰は、スパークス・アセット・マネジメント株式会社を受賞したアワードであり、当ファンドの受賞ではございません。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・日本株・ロング・ショート・ファンド  
愛称:ベスト・アルファ

マンスリーレポート  
基準日 2019年2月28日

## 【運用実績】

	過去のパフォーマンス(%)		直近の分配実績(円)	
	ファンド	TOPIX配当込		
過去1ヵ月間	0.34	2.60	第12期 2014/03/10	300
過去3ヵ月間	-1.68	-3.35	第13期 2015/03/10	0
過去6ヵ月間	-3.87	-6.38	第14期 2016/03/10	0
過去1年間	-3.05	-7.06	第15期 2017/03/10	0
過去3年間	20.06	32.17	第16期 2018/03/12	0
設定来	128.72	95.06	設定来累計	1,300

※決算期に収益分配があった場合のファンドのパフォーマンスは、分配金(税金控除前)を再投資することにより算出される収益率です。従って実際の投資家利回りとは異なります。

## 【ロング・ショート別構成】

	比率(%)	銘柄数
ロング	64.6	41
ショート	-31.4	41
債券	0.0	0
キャッシュ等	66.8	—

※比率は対純資産総額

## 【市場別構成(ロング)】

市場	比率(%)
東証1部	54.1
東証2部	0.0
ジャスダック	0.4
その他	10.1

※比率は対純資産総額

## 【業種別構成(ロング)】

業種	比率(%)
不動産業	10.3
情報・通信業	9.0
機械	6.9
サービス業	5.1
電気機器	4.3
その他	29.0

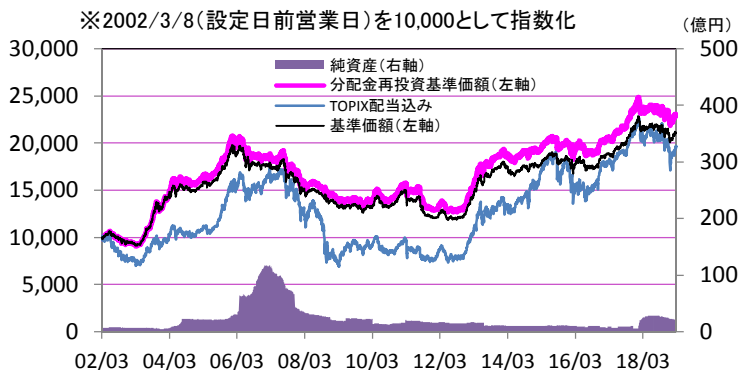
※比率は対純資産総額

## 【基準価額・純資産総額の推移】

基準価額	解約価額	純資産総額
20,988 円	20,926 円	20.78 億円

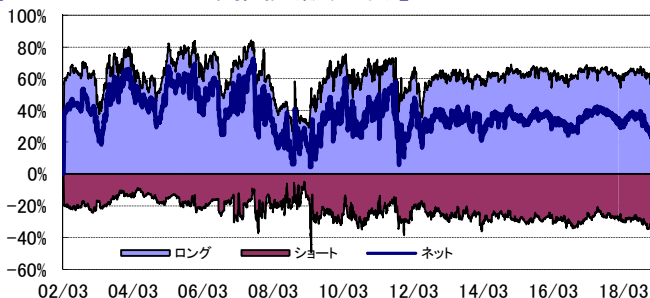
ハイ・ウォーター・マーク: 21,730 円

※基準価額がハイ・ウォーター・マークを超えると実績報酬が発生します。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。



※基準価額は信託報酬・実績報酬等控除後です。  
※分配金再投資基準価額は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものとして計算しております。  
※当ファンドはTOPIX(配当込み)をベンチマークとするものではありません。  
※過去の実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 【ロング・ショート比率推移(設定来)】



## 【組入有価証券上位10銘柄(ロング)】

	銘柄	業種	比率(%)
1	ペプチドリーム	医薬品	4.0
2	シーイーシー	情報・通信業	3.9
3	ティーケーピー	不動産業	3.5
4	SBIホールディングス	証券、商品先物取引業	2.9
5	サンフロンティア不動産	不動産業	2.7
6	SMC	機械	2.5
7	ソリトンシステムズ	情報・通信業	2.4
8	日総工産	サービス業	2.4
9	SUMCO	金属製品	2.3
10	ユニゾホールディングス	不動産業	2.3

※比率は対純資産総額

※上記記載のうち、【運用実績】、【基準価額・純資産総額の推移】以外は当ファンドが投資するマザーファンドに関する情報です。  
※「比率(%)」は、当ファンドが投資するマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・日本株・ロング・ショート・ファンド  
愛称:ベスト・アルファ

マンスリーレポート  
基準日 2019年2月28日

ファンド・マネージャーのコメント

【市況状況】

2019年2月、日本株式市場の代表指数であるTOPIX（配当込み）は前月末比2.60%の上昇となりました。

当月の日本株式市場は、国内企業の業績不振や米中貿易協議の先行き懸念から下落して始まりましたが、その後は米政権が中国製品に対する関税引き上げ期限の延長を検討しているとの報道を受け、米中貿易協議の進展期待から上昇基調となりました。月終盤にかけては、前月からの株価反発局面においてグローバル比較での日本株式の出遅れ感に対して見直しの動きが見られたことも、株価の下支え材料となりました。

【運用状況】

2月の当ファンドは、シーイーシー、日総工産などが上昇し、パフォーマンスに対してプラスに貢献しました。

シーイーシーは、2019年1月期第3四半期業績の減速が心配されていたほど大きくなかったことで、製造業企業によるシステム投資削減リスクが後退し、株価が上昇しました。日総工産は、2019年3月期第3四半期決算で主力の製造業請負派遣事業における派遣単価の上昇と稼働人員増加により2019年3月期通期業績を大幅に上方修正したことから、株価が大きく上昇しました。

一方、JXTGホールディングス、ギフトなどが下落し、パフォーマンスに対してマイナスに影響しました。

JXTGホールディングスは、2018年後半からの原油価格下落によって石油精製事業の-marginが価格転嫁のタイムラグから一時的に悪化することを嫌気して、株価が下落しました。ギフトは、1月の既存店売上は引き続き好調だったものの生産能力が1.5倍となる製麺工場への新規投資を発表したことで固定費コストの上昇を嫌気して、株価が下落しました。株価は下落しましたが、年率20-30%で売上高が成長している会社にとっては安定的な供給源の確保、品質の維持の面から重要かつ必要な投資と判断し、同社への投資を継続しています。

【運用方針】

日本株式市場は、平穏を取り戻しつつあります。世界経済は昨年の後半から停滞傾向が鮮明になってきましたが、景気悪化を先読みして下落しすぎた株価が、実勢並みに戻りつつある状態と考えています。

2月にリックソフトに、新たに投資を開始しました。同社は、2月に東証マザーズに上場した2005年創業のソフトウェア販売、導入支援を行う企業です。アジャイル型プロジェクト管理ソフト「アトランシアン・ジラ」を中心に豪アトランシアン社のクラウド型ソフトウェアを販売し、導入を支援しています。サービス開始時点での完成度を重視する「ウォーターフォール型」開発よりもシステム導入・サービス開始までのスピードを重視する「アジャイル型」開発手法に世界的に流れが傾いており、プロジェクト管理ツールも同様の変化にさらされています。頻度の高い変更や試行錯誤を行うアジャイル型開発を、スケジュールとコストの両面で管理するために、国内ではリックソフトを経由して約100社の上場企業を含む約400社が、豪アトランシアン社のソフトを導入しながら「開発思想の転換」を図っています。また、ソフトウェア導入元の豪アトランシアン社は、米国ナスダック市場に上場し、時価総額は約250億米ドル（2兆7,000億円）とプロジェクト管理ソフトウェア製品の設計開発企業として高く評価されています。

上記ソフトウェアは、新規導入費用が数十万円と、企業のシステム開発部門で「現場決裁できる程度のコスト水準」に抑えられていることから、顧客にとって導入のハードルは低く、効果を確かめてから大規模導入に至るケースが多いこと、一般的な導入支援サービス企業と異なり導入時の個社対応を行わないため開発人員が不要で、人材不足が成長の阻害要因にならないことから、売上高の年間成長率3-40%が見込まれることに加え、利益の年間成長率は4-50%の成長が見込めると考え、積極的に投資を行っています。

また、串カツ田中ホールディングスに、再び投資を開始しました。同社が運営する「串カツ田中」は2018年6月に禁煙化しましたが、ファミリー客の増加で客数が増加し、アルコール販売の減少を補って既存店売上は前年を上回る状況が続いています。子供から大人まで幅広い顧客の支持を受けることで、長期的な成長を目指す同社の経営を評価し、株価が調整した現時点では非常に魅力的な投資になると判断しました。

ショート投資では、既存のショート投資銘柄への売り増しを行いました。大手企業との提携発表で株価が大きく上昇したが企業価値には変化が見られなかった銘柄などへ、ショート投資を行いました。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社に購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等については当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社まで。



# スパークス・日本株・ロング・ショート・ファンド

## 愛称: ベスト・アルファ

### ファンドの目的

当ファンドは、主としてスパークス・日本株・ロング・ショート・マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)を通じて、日本の株式に投資し、絶対値での中・長期的な安定的投資元本の成長を目指して運用を行います。

### ファンドの特色

**1. 株式市場変動の影響を軽減しつつ、安定的なプラスのリターンを目指すロング・ショート戦略の日本株ファンドです。**

当ファンドはロング・ショート型のファンドです。ロング・ショート型とは将来の成長が見込まれる株式を買建て(ロング)する一方で、過大評価されている株式を主に信用取引により売建て(ショート)するという2つのポジションを組み合わせる手法です。

※ベンチマークは特に定めませんこととします。

**2. 進展する「勝ち組」・「負け組」の二極化現象を投資機会と捉えます。**

「勝ち組企業」の株を買建て、「負け組企業」の株を売建てます。

徹底したボトムアップ・リサーチにより、こうした二極化現象を的確に捉えることを目指します。

**3. 中長期的な日本の株価上昇の機会を捉えるため、買持ちの多い戦略とします。**

スパークスでは、株式は中長期的に見て、通常プラスのリターンをもたらすと考えており、また、現状の日本の政治、経済、社会レベルでの構造変化は株式市場の上昇を後押しすると考えています。



原則、買持ちの多い戦略をとります。

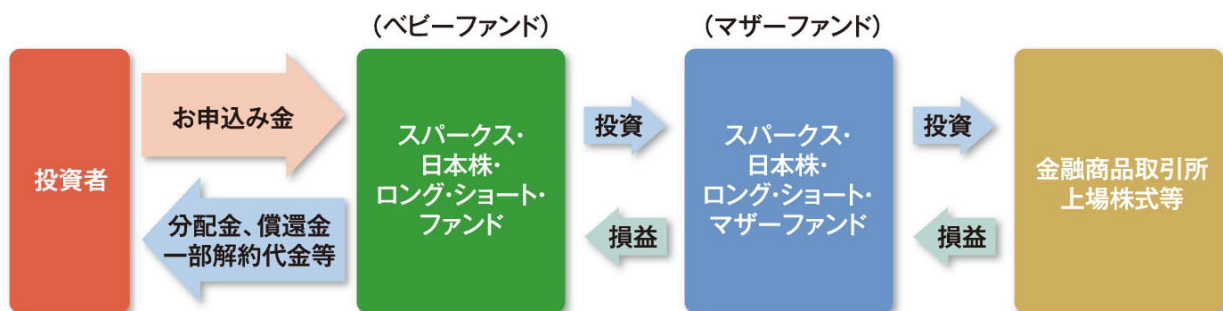
(買持ち=ロングのポジションを、売建て=ショートのポジションよりも多めに保有する戦略)

**4. 徹底的なボトムアップ・リサーチに基づく銘柄評価を行います。**

### ファンドの仕組み

ファミリーファンド方式\*により、金融商品取引所上場株式への実質的投資を行います。

※ ファミリーファンド方式とは、投資者の皆さまからお預かりした資金をまとめてベビーファンドとし、その資金をマザーファンドに投資することにより、その実質的な運用をマザーファンドにて行う仕組みです。



■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



# スパークス・日本株・ロング・ショート・ファンド

## 愛称: ベスト・アルファ

### 投資リスク

#### 基準価額の変動要因

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資等を通じて、株式などの値動きのある有価証券に投資し、有価証券先物取引等を活用することがありますので、ファンドの基準価額は変動します。従って、投資者の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

#### 株価変動リスク

一般に株価は、個々の企業の活動や一般的な市場・経済の状況、国内および国際的な政治・経済情勢等に応じて変動します。従って、当ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があり、これらの価格変動または流動性に予想外の変動があった場合、重大な損失が生じる場合があります。

#### ロング・ショート戦略固有のリスク

当ファンドは売建て(ショート・ポジション)取引を行いますので、売建てた株式等が値上がりした場合、基準価額が下落する要因となります。また、ロング・ポジションおよびショート・ポジションの双方で損失が生じた場合、通常のファンドにおける損失よりも大きくなる可能性があります。

#### 信用リスク

組入れられる株式や債券等の有価証券やコマーシャル・ペーパー等短期金融商品は、発行体に債務不履行が発生あるいは懸念される場合には価格が下がることがあり、また、投資資金を回収できなくなることがあります。

#### 中小型株式等への投資リスク

当ファンドは、中小型株式等へも投資します。こうした株式は、比較的新興であり、発行済株式時価総額が小さく、売上の少ない流動性の低い株式が少なくありません。その結果、こうした株式への投資はボラティリティ(価格変動率)が比較的高く、また流動性の高い株式に比べ、市況によっては大幅な安値で売却を余儀なくされる可能性があることから、より大きなリスクを伴います。

#### その他の留意事項

##### ●システムリスク・市場リスクなどに関する事項

証券市場は、世界的な経済事情の急変またはその国における天災地変、政変、経済事情の変化、政策の変更もしくはコンピューター・ネットワーク関係の不慮の出来事などの諸事情により閉鎖されることがあります。このような場合、一時的に換金等ができないこともあります。また、これらにより、一時的にファンドの運用方針に基づく運用ができなくなるリスクなどもあります。

※基準価額の変動要因(投資リスク)は、上記に限定されるものではありません。

### その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



# スパークス・日本株・ロング・ショート・ファンド

## 愛称: ベスト・アルファ

**お申込メモ(お申込の際には投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)**

ファンド名	スパークス・日本株・ロング・ショート・ファンド (愛称: ベスト・アルファ)
商品分類	追加型投信/国内/株式/特殊型(ロング・ショート型)
信託期間	2002年3月11日から無期限
決算日	毎年3月10日 (休日の場合は翌営業日)
収益分配	原則として毎決算時にファンドの基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないこともあります。
お申込時間	各販売会社で毎営業日お申込いただけます。お申込時間は、原則として午後3時までとします。 当該時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。
お申込単位	販売会社が定める単位
お申込価額	お申込受付日の基準価額
解約のご請求	販売会社の毎営業日に販売会社が定める単位で解約を請求することができます。お申込時間は、原則として午後3時までとします。当該時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。 ※委託会社は金融商品取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときには、解約請求の受付を中止することができます。
解約価額	解約請求受付日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
解約代金の受渡日	解約請求受付日から起算して、原則として5営業日目からお支払いします。

**お客様にご負担いただく手数料等について**  
\* 下記手数料等の合計額については、お申込金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

### 【お申込時】

#### ■お申込手数料

お申込受付日の基準価額に **2.16%(税抜 2.0%)** を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額

### 【ご解約時】

#### ■信託財産留保額

解約請求受付日の基準価額に対して **0.3%** の率を乗じて得た額

#### ■解約手数料

なし

### 【保有期間中】

(信託財産から間接的にご負担いただきます)

#### ■信託報酬

純資産総額に対して **年率 2.052%(税抜 1.90%)**

#### ■実績報酬

前営業日の基準価額がハイ・ウォーター・マークを上回った場合、当該基準価額と当該ハイ・ウォーター・マークの差額の **21.6%(税抜 20%)** を費用計上。実績報酬は半年毎に信託財産から支払われ、ハイ・ウォーター・マークも半年毎に見直されます。

#### ■その他の費用等

(1) 監査報酬、投資信託説明書(目論見書)や運用報告書等の作成費用などの諸費用(純資産総額に対して上限年率 0.10%(税込))

(2) 有価証券売買時の売買委託手数料等は、ファンドの運用による取引量に応じて異なりますので、事前に料率や上限額等を表示することができません。

### 【課税上の取扱い】

課税上の取扱いについては投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

【お問い合わせ先】 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ホームページ <http://www.sparx.co.jp/> 電話番号: 03-6711-9200(受付時間: 営業日 9:00 ~ 17:00)

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。





# スパークス・日本株・ロング・ショート・ファンド

## 愛称: ベスト・アルファ

### ファンドの関係法人について

● **委託会社** スパークス・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 346 号  
 (加入協会) 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 日本証券業協会  
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会  
 信託財産の運用指図、受益権の発行等を行います。

● **受託会社** 三井住友信託銀行株式会社

委託会社の指図に基づく信託財産の管理等を行います。なお、信託事務の一部につき日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社に委託を行います。

● **販売会社** 下記一覧参照

ファンドの受益権の募集・販売の取扱い、一部解約請求の受付、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いの取扱等を行います。

販売会社	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第 370 号	○			
SMBC日興証券株式会社 ※1	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 2251 号	○	○	○	○
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 52 号	○	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 44 号	○	○		○
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 61 号	○	○		
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 2938 号	○			
ごうぎん証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第 43 号	○			
株式会社荘内銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第 6 号	○			
高木証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第 20 号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第 140 号	○	○		○
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 1977 号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第152号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 165 号	○	○	○	
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 94 号	○	○	○	○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号	○		○	
めぶき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 1771 号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 195 号	○	○	○	○
スパークス・アセット・マネジメント株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 346 号	○		○	○

※1 SMBC日興証券株式会社は、2018年10月1日以降、買付申込みの受付を停止しており、換金のみのお受け付けとなります。(分配金再投資による買付は行われません。)

【お問い合わせ先】 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ホームページ <http://www.sparx.co.jp/> 電話番号: 03-6711-9200 (受付時間: 営業日 9:00 ~ 17:00)

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。